

赤坂地区版計画書（素案）に寄せられた区民意見に対する区の考え方

1 意見数

	件数
(1) 区民意見募集（郵送、インターネット等）により寄せられた意見 募集期間：令和5年11月11日～12月11日 人数：2人（うち持参1人、インターネット1人）	2件
(2) 区民説明会での参加者意見 開催日：令和5年11月15日・23日 人数：8人	15件
(3) 区民参画組織での会議での参加者意見 開催日：令和5年11月14日	18件
計	35件

※ 港区基本計画（素案）及び地区版計画書（素案）は、合同で区民説明会を実施しました。

※ 件数は、複数の内容を含んだ区民意見を分割した後の件数です。

2 意見への対応状況

	対応状況	件数	区民意見募集	区民説明会	区民参画組織
1	意見を反映し、計画素案を修正したもの	3件	0件	1件	2件
2	計画素案の記載の中で趣旨を反映しているもの	8件	1件	3件	4件
3	計画素案では記述していないが、既存事業等で対応しているもの	21件	1件	10件	10件
4	意見の内容が対応できないもの	0件	0件	0件	0件
5	区政に対する要望等として受けたもの	3件	0件	1件	2件
	計	35件	2件	15件	18件

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
1	I かがやくまち	ダイナミックな遊びができる室内遊具のある施設の整備や再開発の際の広場の設置義務化など、幅広い年代の子どもが遊べる場所を増やしてほしい。赤坂地区に住んでいるが、5歳の娘は公園はつまらないと行きたがらず、友人とのつながりができない。	インターネット	子ども家庭支援部	子ども政策課	小学校就学前児童をはじめとする子どもの遊び場の不足については、他地域に比べて土地の確保が困難な区独自の課題として認識しています。計画素案に新規の取組として計上した「園児の遊び場の確保」(政策17・施策2・主な取組5)により、民間事業者と連携した遊び場や、区有施設等で思い切り身体を動かせるスペースを確保するなど、様々な手法を検討してまいります。	2
2	I かがやくまち	開発を進める場合は、赤坂地区の古くからの良いものを残しながら取り組んでもらいたい。	持参	赤坂地区総合支所	まちづくり課	赤坂地区には、由緒ある寺社等があり、これらの歴史と文化は地域により継承されてきています。これらはまちの大きな魅力であり、これらの資源を活かし継承されていけるようなまちづくりを進めていきます。	3
3	I かがやくまち	赤坂・青山みんなで学ぼうさい事業について、1回20名で年4回、年間約280万円の経費となっている。1回約70万円は高額ではないのか。	区民説明会(赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	予算については、事業ごとに内容を精査して見積りをとっており、効果的な手法を検討していきます。	2
4	I かがやくまち	赤坂・青山みんなで学ぼうさい事業などカテゴリー別に分けて実施する事業は該当しない人もいる。多世代が参加するイベントとして皆が一緒に参加できるものにしてほしい。カテゴリーで分かれすぎないよう多世代交流を目指してほしい。	区民説明会(赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	学ぼうさい事業については、まず防災を知ってもらおう、関心を持ってもらいたいということでターゲットを絞って実施しています。多世代が参加する防災も必要だが、目的によっては年代を分けた方がよい場合もあると考えています。また、防災については、区だけでなく、多様な主体が様々な取組みを実施しています。多様な主体が実施していることも含めて周知できればと思っています。	3
5	I かがやくまち	赤坂・青山みんなで学ぼうさい事業の事業費に対する参加人数や回数が少ない。1回約70万円だと人数を100人位にするなど検討してほしい。	区民説明会(赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	使用する会場の規模や予算により、参加人数を検討して実施しています。	3
6	I かがやくまち	道路通報システム(My City Report)の周知が足りない。今後どのように周知するのか、また広報みなとに何回掲載したのかを聞きたい。	区民説明会(赤坂)	赤坂地区総合支所	まちづくり課	道路通報システムについて、こちらで把握しているのは約190件程度の通報があり、5地区の情報も見ることができます。周知については工夫をしていきます。また、広報みなとには年1回掲載していますが、回数を増やすことについて検討してまいります。	3
7	I かがやくまち	神宮外苑の再開発により高層ビルができることで、住民の生活環境への影響が大きい。事業者の説明会でも多くの反対意見が出ている。事業者は公益を考えているとは思えず、明治神宮があることも考慮し、区として対応してほしい。	区民説明会(赤坂)	街づくり支援部	開発指導課	区はこれまで神宮外苑の再開発について、銀杏並木の景観に配慮した野球場の計画や、既存緑地の保全など緑豊かな都市景観に配慮することを事業者に求めてきました。また、高層ビルによるビル風対策や新野球場におけるイベント時の騒音対策等について、周辺の住環境に配慮した検討を行うよう、求めてまいりました。施設の具体化に当たりましては、周辺の住環境に配慮した施設計画や運用方針を検討するとともに、当地区全体が誰もが憩い、交流できる開放された緑化空間となるよう、事業者を指導していきます。	3

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の方考え方等	対応状況
				部	課		
8	I かがやくまち	神宮外苑の再開発については、日本国民として反対である。緑が減ることが心配であり、移植をしても古い木は根付かない。少しでも木を切らないようにしてほしい。	区民説明会(赤坂)	街づくり支援部	開発指導課	区はこれまで神宮外苑の再開発について、銀杏並木の景観に配慮した野球場の計画や、既存緑地の保全など緑豊かな都市景観に配慮することを事業者に求めてきました。事業者からは、神宮外苑の再開発により、新たに整備する中央広場と絵画館前広場をつなぐエリアにおいて、移植樹木を中心とした季節感のある緑を創出するとともに、より多くの人に開かれた公園的空間とすると聞いております。今後も、可能な限り樹木を保存、移植するなど、銀杏並木を中心とする神宮外苑の歴史ある緑や景観への配慮を求めるとともに、当地区全体が誰もが憩い、交流できる開放された緑化空間となるよう、事業者を指導してまいります。	3
9	I かがやくまち	神宮球場は歴史的建造物であり、再開発に当たっては住民との討論の場を大切にしながら、共存していくことが重要。古い建物を大事にしながら、冷たいまちにならないよう、住民と会話をし、生活環境を考えながら開発を進めてほしい。	区民説明会(赤坂)	街づくり支援部	開発指導課	区はこれまでも、事業者に対し、多くの方からの意見や要望を真摯に受け止め、対応を検討するよう求めてまいりました。今後も、事業者に対して、説明会の追加開催など、更なる情報発信を求めるとともに、説明会等で出された意見などに真摯に耳を傾け、可能な限り事業計画に反映するよう、強く求めてまいります。また、可能な限り樹木を保存、移植するなど、銀杏並木を中心とする神宮外苑の歴史ある緑や景観への配慮を求めるとともに、当地区全体が誰もが憩い、交流できる開放された緑化空間となるよう、事業者を指導してまいります。	3
10	I かがやくまち	計画事業の歩道の整備について、計画の前期から後期にかけて同じ路線が連続して掲載されていない箇所があり、分かりやすく記載を整理してほしい。	区民説明会(赤坂)	街づくり支援部	土木課	計画事業3「歩道の整備」について、計画の前期に設計が完了しているものの、令和6年度から令和8年度までに工事を予定していない路線については、電線共同溝の工事を実施したのち、令和9年度以降に歩道の整備を予定しています。計画決定に向けて工事の進捗状況等を踏まえてスケジュールを精査した上で、分かりやすい記載となるように表記を修正しました。	1
11	II にぎわうまち	赤坂・青山魅力知伝活事業の事業費は、区民が参加できるものに対してしているのか。	区民説明会(赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	お見込みのとおりです。	2
12	II にぎわうまち	赤坂・青山でつながり隊の事業費が約800万円となっているが、回数、参加人数はどの程度か。	区民説明会(赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	担い手不足についての検討、課題解決に向けた取組を行う予定です。令和6年度は町会・自治会等地域団体にヒアリングを行い、職員向けに課題解決ワークショップを実施します。令和7年度以降は令和6年度にて実施したヒアリング内容をもとに、交流イベントを行う予定です。	3
13	III はぐくむまち	赤坂・青山ふれあいサロン事業が他の事業に比べて予算が少ないのではないか。	区民説明会(赤坂)	赤坂地区総合支所	区民課	ふれあいサロン事業に関しては、区の職員が直営でサポートしているため、人件費、委託料等の負担がなく実施しています。	3
14	III はぐくむまち	赤坂・青山ふれあいサロン事業の事業費約70万円にバスハイクの予算が組み込まれているか、内訳の積み上げを教えてください。	区民説明会(赤坂)	赤坂地区総合支所	区民課	バスハイクについては予算の中に含まれています。17万円程度であり今年度も実施を予定しています。内訳はバス17万円程度、講師料19万円程度、その他材料費も含めての70万円です。次年度行うイベントを想定して、予算の積み上げをしています。	2

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
15	Ⅲ はぐくむまち	赤坂・青山ふれあいサロン事業を事業者に委託しないのはなぜか。	区民説明会 (赤坂)	赤坂地区総 合支所	区民課	必要性や事業内容によって必要な経費を決めています。委託については区職員による実施の補完という位置づけです。ふれあいサロンは区民が担い手になっていくよう、区民参画組織などに運営に手伝ってもらっているものもあります。効果検証しながら、地域の人を入れて活動が広がっていくようにしていきたいと思います。「だれもが地域に関心をもち共存しているまち」の実現に向けて、赤坂地区として力を入れているつもりであり、不足があれば補うようにしていきます。	3
16	Ⅲ はぐくむまち	赤坂・青山ふれあいサロン事業が他の事業に比べて予算が少ないのではないか。	区民説明会 (赤坂)	赤坂地区総 合支所	区民課	ふれあいサロン事業に関しては、区の職員が直営でサポートしているため、人件費、委託料等の負担がなく実施しています。	3
17	その他	町会・自治会への加入率は高くないと思う。町会・自治会からだけでなく、幅広い人たちから意見を吸い上げる形で検討してほしい。	区民説明会 (赤坂)	赤坂地区総 合支所	協働推進課	町会・自治会に参加していない方がお祭りに参加できなかったということも聞いております。そういうことも含めてヒアリングしながら、課題を共有できるようにしていきます。	5
18	I かがやくまち	赤坂・青山会議の参加者、開催頻度、活動報告は区ホームページに掲載しているか。また、会議参加者はどのように集めているのか。	区民参画組 織 (赤坂)	赤坂地区総 合支所	協働推進課	赤坂・青山会議の活動は区ホームページ等で情報提供しており、参加企業等を掲載しています。今後さらに内容を充実させて更新する予定となっています。会議参加者は「赤坂青山 美しいまちマナーのまちキャンペーン」や地域情報誌等を活用し、赤坂・青山会議の活動について、パネルの掲示や記事の掲載などにより周知を行っている他、キャンペーンの参加者からの問い合わせ等の機会を捉え、会議への参加を促しています。	2
19	I かがやくまち	道路通報システム(My City Report)について周知が課題ということであれば、二次元コードをこの地区版計画などにも配置してはどうか。	区民参画組 織 (赤坂)	赤坂地区総 合支所	まちづくり 課	いただいたご意見を踏まえて、二次元コードを追加します。	1
20	I かがやくまち	道路通報システム(My City Report)はどのように区民に周知・広報しているのか。広報みなどで周知したことはあるのか。いつ広報したのか。現在の登録者数、利用状況はどうなっているのか。地区別の利用状況はどうなっているのか。	区民参画組 織 (赤坂)	赤坂地区総 合支所	まちづくり 課	本システムについては、区ホームページや広報みなどで周知しています。道路通報システムは令和3年1月試験導入し、令和4年4月から本格的に導入しています。直近では、令和5年4月11日号の広報みなどおよび区ホームページで周知をしました。登録者数は現在約350名、投稿(通報)数は約190件となっており、道路のブロックがガタついている、樹木の枝が伸びていて歩きづらいといった内容のものが投稿されています。赤坂地区別の利用状況は通報数は11件で、今後は地域に愛着と関心を持ってもらうための周知を今後検討していきます。	3
21	I かがやくまち	道路通報システム(My City Report)の取り組みについて、赤坂地区の報告件数は11件と少ないが、他の5地区の状況を把握しているのか。報告件数の多い地区の状況を参考にしているのか。また、地域事業の予算は11事業に均等配分されているのか。どのような考え方で配分されたかを知りたい。	区民参画組 織 (赤坂)	赤坂地区総 合支所	まちづくり 課 協働推進課	・My City Reportは5支所全体を見ることができが芝地区が多い印象です。報告件数の多い地区の状況を参考にすることや周知については今後検討していきます。 ・地域事業の予算は均等配分していません。事業ごとに精査し、事業の特性にあった予算の配分を行っています。	2

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
22	I かがやくまち	提言の反映内容を見ると、再開発事業者と住民のコミュニケーションというよりは、再開発事業者の支援に見受けられるため提言の反映内容について知りたい。 また、道路通報システム(My City Report)の課題は何か。子育て送迎ルート(再掲事業)も教えてほしい。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	まちづくり課	・再開発事業者と住民のコミュニケーションの機会の充実については、開発で整備される公園等がコミュニティの場となるように整備し、アドプト・プログラムに取り組んでいただけるようにしたいと考えています。引き続き周知し、件数が増えることでコミュニケーションが広がることを目指していきます。また、開発事業者が地域の活性化等を目的に行うエリアマネジメント活動の支援を行うことで、住民、事業主、地権者などの地域主体のまちづくりを推進していきたいと考えています。 ・道路通報システムは周知が課題と思っています。 ・子育て送迎ルートについては、これまで全区的に計画している自転車通行空間の整備のために推進しています。幹線ネットワークルートの路線から、各子育て施設に通ずる道路において、子どもを乗せた自転車の安全な通行を支援するために、路面標示、案内サイン等の整備をしていきます。	3
23	I かがやくまち	子育て送迎ルート整備(再掲事業)とは具体的に何をするのか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	まちづくり課	港区においては、自転車は、日常生活の身近な移動手段であり、またサイクリングなどのレジャーを楽しむ手段として多くの人に利用されていることを踏まえ、環境負荷が少なく健康にもよい自転車の積極利用を促進するために、自転車ネットワーク整備を進めています。 幹線ネットワークの路線から各子育て施設に通ずるルートにおいて、子どもを乗せた自転車の安全な通行を支援するために、路面標示、案内サイン等の整備をしていきます。	3
24	I かがやくまち	子育て送迎ルート整備(再掲事業)の推進に自転車の安全な通行の支援とあるが、青山は駐輪場が減って自転車送迎が逆に不便になったという声も聞くため、ルートの整備だけでなく、駐輪場の整備についても検討してほしい。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	まちづくり課	表参道駅周辺ではURの土地を無償貸与を受け、駐輪場を整備していたが令和5年6月に閉鎖をしました。これに合わせ放置自転車の即日撤去としていたところは緩和しています。土地に関しては引き続き模索しているとともに、北青山三丁目の開発により公共的駐輪場の設置を事業者と検討しています。子育て世代の支援をまちづくりの中でも検討していく方針です。	3
25	I かがやくまち	自転車通行空間整備の推進(再掲事業)とともに自転車利用者もマナー向上も合わせて快適な空間をつくってほしい。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	まちづくり課	事故等も多いことから、ハード整備だけでなくソフト面の施策も重要だと考え、現在、警察等とも連携しています。引き続きハード・ソフト両面で施策を推進していきます。	3
26	I かがやくまち	アドプト・プログラムとは何か。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	まちづくり課	アドプトとは養子という意味があり、地域の方々が里親として道路や公園を育てていくボランティア活動となっています。区民や企業の方々が、地域の共有財産である道路や公園に愛着を持ってもらい、地域コミュニティの場となるとともに、利用者のマナー向上を推進することを目的としています。 赤坂地区では約10団体、青山地区では8団体の登録があり、清掃や花壇管理を行っています。	3
27	I かがやくまち	分野別計画からの再掲事業に記載のある電線地中化について、記載のない地域は計画がないということか。記載のないエリアは今後どういう方針なのか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	まちづくり課	無電柱化推進計画で優先的に整備する路線を選定し事業を推進しており、区道全域222kmを無電柱化する方針です。しかし、トランス(変圧器)を道路上に立てなければいけないなど、技術的に狭隘道路は無電柱化が推進しにくい現実があります。着実にできるエリアから順次推進していきます。	3
28	II にぎわうまち	地域情報誌は、H18年に創刊されているが、提言の反映となっているのはなぜか。以前は年4回発行されていたが、年3回発行になったのはいつからか。また、発行回数が減ったのはなぜか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	昨年度の分科会での多様な手段で地域参加につながる情報発信をしていくという提言を踏まえ、情報発信の手段の一つとして地域情報誌を挙げています。 令和2年度から年3回発行となっています。地域情報誌は他の地区でも発行しており、すべての総合支所で調整を行い、それぞれの総合支所が年3回発行することとしました。	3

No	分野	区民意見	区分	回答部署		区の考え方等	対応状況
				部	課		
29	Ⅱ にぎわうまち	SNSでの情報発信に力を入れるだけでは、現在フォローしている人にしか届かないのではないかと。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	X (旧Twitter) については昨年度の分科会でも意見があったが、強化していく方向性であり、令和8年度末目標も上方修正しています。また、SNSでの情報発信の強化に努めるとともに、引き続き閲覧者を増やせるように取り組んでいきます。	5
30	Ⅱ にぎわうまち	SNSの媒体は、区内でも部署ごとに多くある。一元化してはどうか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	現時点では、全庁的にSNSの媒体を一元化することは想定していません。他地区・部署の情報が届くのを望まない声もあるので関心のある部署のSNSをご利用いただきたいと思います。また、各支所のSNSについては、効果的に発信していくため、今後さらに強化に努めていきます。	5
31	Ⅲ はぐくむまち	地域事業の数や施策の内容をみると、施策の3つの並び順は「はぐくむまち」が1番上にきてよいのではないかと。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	全ての事業は、まちの安全安心があつてこそ実施できるため、施策の並び順については引き続きこのまま進めていきます。新型コロナウイルス感染症もだいが落ち着いてきているため、はぐくむまちに地域事業が多く設定し、ソフト面の施策もアフターコロナの取り組みとして強化していきます。	2
32	Ⅲ はぐくむまち	赤坂・青山ふれあいサロン事業1回あたりの予算が少ないのもっと予算を配分してはどうか。バスハイクの予算も組み込まれてこの金額なのか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	区民課	「赤坂・青山ふれあいサロン」は、区直営事業であり、委託等をしていないためこの予算となっています。バスハイクは毎年度見積をとって、この予算の範囲内で実施できる予定になっています。	3
33	地区版計画書全体	「かがやくまち」及び「はぐくむまち」での赤坂地区の現状「地域住民の意識」の記載で、同じ表現が使われているので工夫してはどうか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	表現については、誤解が無く伝わるよう修正します。	1
34	地区版計画書全体	計画書の冒頭に、計画推進分科会の座長・副座長のあいさつ文等を記載できないか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所	協働推進課	区民参画組織のご意見をもとに区の計画としており、冒頭に区長挨拶を掲載しています。ご理解いただきたいと思います。	2
35	地区版計画書全体	地域事業名の1番目が違法置き看板ゼロ作戦で「違法」の対応を行う事業の印象がよくない気もするため、次回改定時に変更できるとよい。また、保育定員の適正な管理（再掲事業）における港区保育室数は「未達成」ではないのか。	区民参画組織 (赤坂)	赤坂地区総合支所 子ども家庭支援部	まちづくり課 子ども政策課	・いただいたご意見を踏まえて検討します。 ・現在、区内の保育施設に空きが出ている状況を踏まえ、もともと認可保育園を補完する施設として位置付けられていた港区保育室は、認可化予定の2園を除き全て順次終了していく予定となっています。 そのため、他の施設種別と異なり、増やすことが目標ではなく、減らすことを目標として設定しています。（令和2年度実績13園に対し、令和5年度目標が11園）よって、令和5年度目標が11園のところ、実績が10園と、目標よりも早く終了を進めることができたため、達成状況を「達成」としていません。	3